



## UDP の生成

---

すべての IP Phone ユーザに対するプロファイルを生成して挿入することによって、Cisco CallManager Bulk Administration (BAT) を使用してエクステンション モビリティを迅速にセットアップできます。BAT は、ユーザが制御するデバイス数に関係なく、すべての電話機に対してユーザ デバイス プロファイルを生成します。たとえば、ユーザが 2 つのデバイスを制御している場合、BAT は 2 つの異なるユーザ デバイス プロファイル (各デバイスに対して 1 つずつ) を生成し、それらのユーザ デバイス プロファイルを同じユーザに関連付けます。BAT は生成されたユーザ デバイス プロファイルの 1 つをユーザのデフォルト ユーザ デバイス プロファイルとして設定します。BAT は各電話機モデル用の電話機ボタン テンプレートに基づいて、すべての IP Phone 用のユーザ デバイス プロファイルを生成します。



(注)

---

このアクションの実行には、ユーザ デバイス プロファイル テンプレートも CSV データ ファイルも使用しません。これらのユーザ デバイス プロファイルは、BAT によって生成されたとき、ユーザに関連付けられます。

---

## ユーザ デバイス用のユーザ デバイス プロファイルの挿入

すべてのユーザ用のユーザ デバイス プロファイルを生成する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** **Bulk Administration > User Device Profiles > Insert User Device Profiles** の順に選択します。User Device Profiles Insert Configuration ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** Insert User Device Profiles Specific Details オプション ボタンをクリックし、カスタマイズされたファイル形式を使用する UDP レコードを挿入します。ステップ 4 と 5 に進みます。
- ステップ 3** Insert User Device Profiles All Details オプション ボタンをクリックし、All Details オプションを使用して作成したエクスポート済み UDP ファイルの UDP レコードを挿入します。
- ステップ 4** File Name ドロップダウン リスト ボックスで、この固有のバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 5** Specific Details オプションを選択する場合は、User Device Profiles Template Name ドロップダウン リスト ボックスで、このタイプのバルク トランザクション用に作成した BAT 電話機テンプレートを



(注) エクスポート ユーティリティを使用して生成したファイルを挿入する場合は、ファイルに付加されているサフィックスを参照すると、適切な回線設定とともに電話機テンプレートを選択できます。エクスポート ユーティリティは、電話機に対して設定される回線ごとに、数字のサフィックス `_n` を付加します。たとえば、「sales\_7960\_1\_3.txt」という名前のエクスポート ファイルは、このファイル内のすべての電話機レコードに対して、回線 1 と回線 3 が設定されることを示しています。

CSV データ ファイルに個々の MAC アドレスを入力しなかった場合は、**Create Dummy MAC Address** チェックボックスをオンにする必要があります。CTI ポートを追加する場合、ダミー MAC アドレス オプションを使用すると、ダミー MAC アドレスの形式で、CTI ポートごとに固有のデバイス名が指定されます。

このフィールドは、XXXXXXXXXXXX という形式でダミー MAC アドレスを自動生成します。X は任意の 12 文字の 16 進数 (0 ~ 9 および A ~ F) を表します。

- ユーザに割り当てられる電話機の MAC アドレスが分からない場合に、このオプションを選択します。電話機が接続されると、そのデバイスに対する MAC アドレスが登録されます。
- データ入力ファイルに MAC アドレスまたはデバイス名を指定した場合は、このオプションを選択しないでください。

Cisco CallManager Administration にこの情報を手作業で入力するか、または、TAPS を使用すると、後で、電話機またはデバイスを正しい MAC アドレスで更新できます。TAPS の詳細については、P.52-2 の「TAPS の概要」を参照してください。ステップ 8 に進みます。



(注) テンプレート内にある既存の電話機の設定値を変更する場合は、**Override the existing configuration** チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、ユーザ デバイス プロファイル情報も更新されます。



(注) ユーザの現在の IP Phone に基づいて、すべての電話機に対してユーザ デバイス プロファイル レコードを生成して挿入するには、**Based on devices controlled by users** オプション ボタンを選択します。



(注) 生成済みのユーザ デバイス プロファイルをデバイスのログアウト プロファイルとして使用する場合は、**Set User Device Profile as Log Out Profile for the device** チェックボックスをオンにします。

**ステップ 6** Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 7** **Run Immediately** オプション ボタンをクリックして UDP レコードを即座に挿入するか、**Run Later** をクリックして後で挿入します。

**ステップ 8** **Submit** をクリックして、電話機レコードを挿入するジョブを作成します。

**ステップ 9** Bulk Administration メイン メニューの Job Scheduler オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.54-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。



(注) レコードの情報に何らかの問題がある場合、BAT はユーザ デバイス プロファイル レコードを挿入しません。

#### その他の項目

詳細については、[P.37-4 の「関連項目」](#)を参照してください。

## 関連項目

- [ユーザ デバイス用のユーザ デバイス プロファイルの挿入 \(P.37-2\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.51-1\)](#)
- [TAPS の概要 \(P.52-2\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.54-4\)](#)